

松蔭中学校・高等学校美術部の挑戦

「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond」 六甲山で魚釣り!?

”劇団・美術部” 始動!



神戸地方気象台より、
午後一時の天気予報をお伝えします。

世界的アーティスト・川俣正氏の作品「六甲の浮き橋とテラス」が舞台!

緑の中を走り抜けてく真っ赤な金魚が、黒電話を届けに来ました。

FISH お魚天国 STORY



鯖 ハイビスカス
サバ 花言葉【信じる心】
魚言葉【嘘】

お出かけの際は
「ハイビスカス」をお持ちください。

湿った「鯖」が前線に流れ込む影響で、
「嘘」の確率が80%を超える模様です。



オルゴールの調べとともに、
”白い釣人たち”が登場。
天気予報にご注意を。

鯰

ブリ

魚言葉【出会い】

《ブリの嫁入り》
晴天に雨が降る時、
夫婦のブリが現れる。
「黄色のバラ」を捧げ
持ち、出会いと別れの
天気雨。



明日は引き続きブリ模様となり、
出会いの予感が高まります。

南東より黄色の薔薇が吹き込み、
別れの気配を感じるでしょう。

PHOTO: junpei iwamoto

黄色の薔薇

花言葉【別れ、嫉妬】

荒ぶる「真鯛の骨」、破戒の「宿命」を
背負って嵐とともに襲来！

大型で、非常に強いマダイ十四号は、
強力な「宿命」を保ちながら北上中です。



マダイ

真鯛

魚言葉【宿命】

深夜に近づくにつれ、恋は遠ざかるでしょう。
引き続き「蓮」の出現にもご注意ください。

蓮

花言葉【遠ざかる恋】

嵐は遠ざかり、真鯛の骨は「蓮の花」へとメタモルフォーゼを遂げてクライマックスへ！
白い釣り人たちは、色鮮やかな魚たちに転生し、天国に辿り着くのでした。

「FISH STORY」・・・アメリカの慣用句で「ホラ話」「大袈裟な話」という意味。

釣った魚を自慢する釣人が、実際より大きなサイズで喋ることから。

☞2023年、六甲山・森の音ミュージアムの池に現れた水上テラスと浮橋のうえで、
松蔭美術部が繰り広げた白昼夢のような舞台は、嘘のような本当の話。

